

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

20代と30代をT字型人間で振り返る

1.20代(T字型のタテを決めた時期)

- ・24歳で中規模の税理士法人に就職
- ・税理士を目指してはいたものの、どの分野を専門にするかは決めかねていた
- ・色々な業務を経験できる法人に決め、さまざまな業務を経験(国際税務、事業承継...)
- ・28歳で税理士試験に合格
- ・勉強した内容をフル活用できる「事業承継」を自分の専門領域とすることを決意

2.30代前半(T字型のタテを深めた時期)

- ・30歳でみらいコンサルティングに転職
- ・はじめはまったくついて行けず。自信喪失。何をやってもうまくいかない日々
- ・唯一できたのは「毎日諦めずに打席に立ち続けること」。機会を頂けたことに感謝
- ・5年間はひたすら事業承継案件に従事。さまざまな経験を積む(組織再編、大型相続)
- ・金融機関への営業活動も経験。受注を通じてPMも担当。当事者意識が強くなる。
- ・受注とクロージングを経験していくなかで、徐々に自信が芽生えはじめる

3.30代後半(T字型のヨコを広げた時期)

- ・事業承継の案件を通じていろいろな業務に携わるように(組織づくり、セールスデザイン、BPR)
- ・はじめは当事者意識が低かったが、徐々に自分でも貢献できることに気づく(組織づくり...リーダーとしての経験、セールスデザイン...営業活動の経験等)

4.40代の抱負

- ・T字型のヨコをもっと広げていきたい(特に経営者と会話できる領域...ヒトの話をすればするほど、数値(会計)の話をしないと経営者と対話ができない)
- ・T字型のタテは次世代に任せていきたい(チームの成長のため)